

## 病態病理演習（消化管疾患） 2014/4/18（金） 3-4 限M4 医学部病理 I ・堤寛教授

### 症例 1 : 55 歳男性

主訴：心窩部痛

現病歴：

1ヶ月前より心窩部痛出現。徐々に心窩部痛が増強、痛みは食後に強い。食思不振、吐気、嘔吐を認めるようになったため来院。胃内視鏡検査にて、胃に潰瘍性病変を指摘されたため、入院となった。

既往歴・家族歴・個人歴：特記すべきことなし

職業：農業

身体所見：

身長 175 cm、体重 72 kg、体温 36.5℃、脈拍 84/分整、呼吸数 14 回/分、血圧 110/70 mmHg、貧血（-）、黄疸（-）、リンパ節腫脹（-）、心音：純、肺野：清、腹部：平坦・軟、心窩部に圧痛（+）、浮腫（-）、直腸診：異常なし

検査所見：

WBC 5,300/ $\mu$ l、RBC 408 万/ $\mu$ l、Hb 13.0 g/dl、Ht 40.4%、血小板 24 万/ $\mu$ l、ESR 30 mm/hr、ALT 10 IU/L、AST 12 IU/L、LDH 171 IU/L、ALP 63 IU/L、 $\gamma$ -GT 16 IU/L、T. bil 0.3 mg/dl、BUN 12 mg/dl、Cr 0.9 mg/dl

胃液検査：基礎酸分泌（BAO）8.4 mEq/hr（基準値 2~7）

最大酸分泌（MAO）17.8 mEq/hr（基準値 9~23）

BAO/MAO=0.47（基準値 <0.20）

写真提示：

図 1. 上部消化管造影（充盈像）

図 2. 上部消化管造影（二重造影）

図 3. 上部消化管内視鏡（胃角部）

図 4. 胃生検（潰瘍周辺部、HE 染色、低倍率）

図 5. 胃生検（潰瘍周辺部、HE 染色、高倍率）

※胃生検バーチャル顕微鏡（HE 染色，Giemsa 染色，Warthin-Starry 銀染色，免疫染色）

---

問 1. 身体所見、検査所見の異常値をあげよ。

問 2. 血沈亢進の原因は？

問 3. 酸分泌を評価せよ。

問 4. 画像を評価し、診断せよ。

問 5. 治療方針を述べよ。

## 症例 2 : 23 歳男性

主訴 : 血便、下痢

現病歴 :

昨年 3 月ごろより下痢が出現。次第に便に血が混じるようになった。外来受診し、注腸造影を施行されたが異常所見を認めず、外来通院していた。

1 年後 (1 ヶ月前) より臍周囲痛が出現。血便が増悪したため、注腸造影ならびに大腸内視鏡検査が行われた。下痢は日に 6~10 回に及ぶ。

既往歴・家族歴 : 特記すべきことなし

嗜好品 : アルコール (-)、喫煙 (-)

職業 : 会社員 (事務系)

身体所見 :

身長 172 cm、体重 51 kg、血圧 110/70 mmHg、脈拍 90/分整、呼吸数 17/分、体温 37.8℃、眼瞼結膜 : 軽度貧血状、眼球結膜 : 黄疸なし、胸部 : 打聴診上異常なし、腹部 : 平坦軟、左下腹部に軽度圧痛あり、腫瘤触知せず、表在リンパ節 : 腫大なし、神経学的所見 : 異常なし

検査所見 :

白血球 8,900/ml、赤血球 295 万/ml、Hb 8.2 g/dl、Ht 24%、血小板 32.5 万/ml、血清総蛋白 5.8 g/dl、アルブミン 3.1 g/dl、AST 15 IU/L、ALT 12 IU/L、BUN 22.0 mg/dl、Cr 0.8 mg/dl、総コレステロール 120 mg/dl、CRP 2.1 mg/dl、血沈 (ESR) 35 mm/時

画像提示 :

図 1 . 注腸造影 1

図 2 . 注腸造影 2

図 3 . 大腸内視鏡検査 (S 状結腸)

図 4 . 大腸生検 (HE 染色、低倍率)

図 5 . 大腸生検 (HE 染色、中倍率)

※大腸生検バーチャル顕微鏡 (HE 染色)

---

問 1 . 身体所見、検査所見の異常値をあげよ。

問 2 . MCV、MCH、MCHC を計算し、貧血の原因を推定せよ。

問 3 . 画像を評価し、最も考えられる診断をあげよ。

問 4 . 治療方針を述べよ。

問 5 . 生活指導上の注意点をあげよ